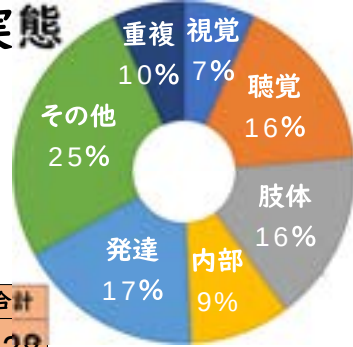


本学の障害学生の実態

重複障害学生は 15 人



視覚	聴覚	肢体	内部	発達	その他	合計
10	25	24	14	26	39	138

サポート学生の配置状況

支援を必要とする授業数 実際に活動したサポート学生数

	総計
UDトーク修正	72
手話通訳	1
ノートテイク	8
ポイントテイク	12
計	93

	総計
社会福祉学部	37
教育・心理学部	21
スポーツ科学部	5
健康科学部	6
経済学部	3
国際福祉開発学部	1
看護学部	0
計	73

支援体制

キラット 	プレミアム 
サポートしたい 気持ち優先 ■初心者でもOK ■同時修繕OK、空きコマでの活動も可 ■障害のある学生の支援ならどんな活動でもOK	技術と責任 ■活動経験あり ■自分の空きコマで活動 ■授業内支援（UDワーク修正、ノートタイク、パンコタイク、肢体障害者の代筆・資料めくり等）
■サポート学生登録をするだけ	■採用手続きのために書類の提出が必要 ■検印、開始時間と終了時間を報告 ■勤務報告書の提出が必要
■ボランティア ■キラットポイントの対象。障害学生支援活動奨励金として、年2回 500円（20,000円の金券等）ももらえる	■短期登録職員 時給990円 （2023年度前期）

- ①障害学生が支援センターに必要な支援を依頼
- ②依頼情報をサポート 学生に共有
- ③サポート 学生が希望する支援を申し込む
- ④学生支援センターが学生同士をマッチングして、活動開始

支援の内容

UDトーク



支援者は教室内で講義を聴きながら、パソコンやスマートフォンを使って修正・補足支援をしています。

基本、学生が2人体制で支援を行っています。



パソコン・ノート(ポイント)テイク

講義時に先生が話した内容を、パソコンや専用用紙を使って文字起こしをする支援です。

パソコンテイクは2人以上で行い、できるだけ早く文字にして情報を伝えます。

ノートテイクも2人以上で行い、周囲の音もリアルタイムで伝える筆記通訳です。

ポイントテイクは1人で行い、各利用学生のニーズに合わせて支援を行います。

映像の字幕付け



字幕を付ける会「くまじ」という
有償ボランティアのサークルがあります。

先生からの依頼で、授業の映像教材に字幕を付ける活動
をしています。
各自の空きコマを使って、期日までに字幕付け作業を仕
上げます。

活動コマ数に応じて、キラット★ポイントという報酬が貰えます。

手話サロン

月に2～4回、学生スタッフが手話を学ぶきっかけづくりとして、手話サロンを行っています。

- ・ 指文字練習 ・ 自己紹介 ・ 週末のことを話そう
- ・ 大学で使える手話表現
- ・ 絵本を手話で表現してみよう

など

サロンを通して簡単な手話を身に付けて、支援で活かしている学生もいます！



支援体験会

支援体験会では、
「支援に興味があるけど一歩踏み出せない」
「どのようにやったらいいのかイメージがわからない」
そんな学生の背中を後押ししています。

- ・ UDトーク修正
- ・ パソコン・ノートテイク など

様々な支援経験のある学生スタッフと一緒に練習します。
先輩の体験談も聞けるため、初めて支援に入る人は、
不安を解消する場にもなります。

